

材惣木材株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	事業活動において発生する副産物を資源化、また有効活用するとともに、モノづくり企業として、その技能を地域の全ての方を対象に誰でも出来るように工夫し、啓蒙・指導育成に貢献する。また、従来よりも地球にやさしい環境で事業活動が出来るような体制を構築する。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
経済	9・12・14	飛島村事業所において、①社員食堂から発生する残飯の削減とたい肥化、②木材の端材の有効活用を実施。	2025年までに食堂から発生する残飯を全てたい肥化。緑地帯の肥料にする。また工場から発生する端材のうち90%以上を資源化。（産廃としない）
社会	4・5・10・15	毎年、飛島村の住人を対象とした木工教室に参加、親子そして、老若男女誰もが取り組める、木材を使ったモノづくりの楽しさを指導育成。	2025年まで毎年最低1回は実施
環境	13	エンジン式フォークリフトの購入・使用を控え、電気式フォークリフトの割合を増やし、化石燃料使用を削減、CO2排出削減を実施。	電気式フォークリフトの割合：2021年度 30%→2023年度 40%以上とする。